



## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東  
コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321  
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	10,825	6.5	1,119	2.6	1,125	△12.3	769	△10.0
2023年8月期第2四半期	10,160	19.7	1,091	178.5	1,283	84.7	855	86.7

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 767百万円 (△10.0%) 2023年8月期第2四半期 853百万円 (86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	55.42	55.34
2023年8月期第2四半期	61.24	61.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	11,095	7,265	65.1
2023年8月期	11,253	6,904	61.0

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 7,228百万円 2023年8月期 6,867百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	10.40	10.40
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.5	2,240	15.2	2,240	3.9	1,500	1.9	107.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	13,994,200株	2023年8月期	13,988,400株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	216,971株	2023年8月期	130株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	13,886,065株	2023年8月期2Q	13,966,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高が緩やかに続く状況ではありましたが、所得・雇用環境の改善やインバウンド需要の復調等により、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、国際情勢の動向、原材料価格や資源価格の高騰、物価の上昇や世界的な金融引き締めによる影響から、依然として先行き不透明な景況が続いております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、デジタル技術の進展・普及に伴い、あらゆる産業で企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連への投資需要は引き続き拡大しています。また、昨今の人材不足等の状況を反映し、多くの企業でクラウドサービスや生成AI等の新たな技術を活用した業務効率化や業務変革を推進する動きが加速しています。企業のITニーズが複雑化する中、当社ではビジネスパートナーを積極的に活用し、多様なニーズを捉えたITサービスの提供を行っております。

このような環境の下、良質なエンジニアの育成や社内エンジニアのDXシフト等によるサービスの価値向上に取り組むほか、ビジネスパートナーリソースの活用も含め、IT・DX領域の社会実装と運用を担う「デジタルインテグレーター」としての事業基盤の整備を行いました。また、自社サービスである法人向けChatGPT導入・活用支援サービス「NewtonX」では、AI活用による業務支援を開始しています。

これらの結果、当社グループの売上高は10,825,441千円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1,119,110千円（前年同期比2.6%増）、経常利益は1,125,181千円（前年同期比12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は769,627千円（前年同期比10.0%減）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結会計期間より、従来の「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」、「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の4区分より、「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」を統合して「デジタルインテグレーション事業」とし、「デジタルインテグレーション事業」「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の3区分に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① デジタルインテグレーション事業

デジタルインテグレーション事業においては、ITインフラソリューションとしてITシステムの構築・運用・保守を手掛けるほか、IoTクラウドサポートセンターでは24時間365日体制でクラウドインフラやIoTサービスの運用を提供し、企業のICT環境のクラウド化を幅広く支援しております。また、クラウドシステムの運用・定着化領域として統合人事システム「COMPANY」の導入・定着化支援を手掛けるほか、株式会社セラクの完全子会社である株式会社セラクCCCにおいて、「Salesforce」の定着化支援を軸としたカスタマーサクセスソリューションサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新規顧客への拡販や、既存顧客への継続的な取引拡大、ビジネスパートナーのリソースの活用を推進してまいりました。株式会社セラクCCCでは、2024年1月、Salesforceの定着・活用に対する専門性と豊富な実績が評価され、Salesforce Navigatorプログラム（特定分野におけるSalesforceパートナーの専門能力を知識・経験・品質から総合評価するプログラム）のExpert認定を獲得いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は10,366,591千円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は1,121,892千円（前年同期比5.2%増）となりました。

#### ② みどりクラウド事業

みどりクラウド事業では、ITを用いて農業・畜産・水産のDX化を支援する「みどりクラウド」「ファームクラウド」などのプラットフォームサービス、一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。2023年3月には、青果流通の現場に二次元バーコードやクラウドシステムなどを用いたデジタル技術を導入する「みどりクラウド らくらく出荷」をリリースし、全国のJAに向けた拡販を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、顧客ニーズを反映したサービス開発を継続し、「みどりクラウド らくらく出荷」に普及拡大に向け、営業活動を続けてまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は151,262千円（前年同期比25.6%減）、セグメント損失は28,032千円（前年同期はセグメント損失7,737千円）となりました。

## ③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズでの3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、通信建設及び情報通信に関する技術を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、エンジニアの採用・育成に注力し、安定した稼働率で売上高は堅調に推移いたしました。引き続き、企業規模の拡大に向け、グループシナジーを活かした営業活動を推進しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は355,899千円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は17,270千円（前年同期比46.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ157,734千円減少し11,095,930千円となりました。これは主に、現金及び預金が318,296千円減少したものの、保険積立金が82,650千円、敷金及び保証金が44,000千円、流動資産「その他」が40,110千円、売掛金及び契約資産が15,157千円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ518,708千円減少し3,830,738千円となりました。これは主に、未払消費税等が212,640千円、未払法人税等が136,121千円、未払金が77,971千円、流動負債「その他」が67,637千円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ360,974千円増加し7,265,192千円となりました。これは主に、利益剰余金が624,149千円増加し、自己株式が266,987千円増加したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、6,496,720千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、258,638千円（前年同期は883,012千円の収入）となりました。

主な要因は、法人税等の支払額469,123千円、未払消費税等の減少額212,640千円、未払金の減少額97,777千円、前払費用の増加額42,482千円、売上債権の増加額15,157千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,122,106千円の増加要因によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、155,937千円（前年同期は125,680千円の支出）となりました。

主な要因は、保険積立金の積立による支出82,650千円、敷金及び保証金の差入による支出50,855千円、有形固定資産の取得による支出23,958千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、420,397千円（前年同期は119,105千円の支出）となりました。

主な要因は、自己株式の取得による支出266,987千円、配当金の支払額141,644千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日の「2023年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,867,019	6,548,723
売掛金及び契約資産	2,562,001	2,577,159
仕掛品	34,497	28,588
原材料	60,820	54,898
その他	202,976	243,086
貸倒引当金	△1,575	△1,575
流動資産合計	9,725,739	9,450,881
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	175,696	168,925
工具、器具及び備品(純額)	41,257	52,353
その他	5,746	20,855
有形固定資産合計	222,700	242,134
無形固定資産		
ソフトウェア	794	614
その他	1,662	1,662
無形固定資産合計	2,456	2,277
投資その他の資産		
投資有価証券	108,991	105,621
繰延税金資産	501,916	483,654
敷金及び保証金	288,812	332,812
保険積立金	375,892	458,543
その他	27,154	20,004
投資その他の資産合計	1,302,767	1,400,638
固定資産合計	1,527,925	1,645,049
資産合計	11,253,664	11,095,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	130,402	136,974
1年内返済予定の長期借入金	183,324	183,324
未払金	1,417,198	1,339,226
未払法人税等	500,088	363,966
未払消費税等	541,648	329,008
賞与引当金	1,105,938	1,096,662
受注損失引当金	—	73
その他	300,343	232,706
流動負債合計	4,178,943	3,681,941
固定負債		
長期借入金	61,122	44,460
退職給付に係る負債	102,318	98,392
その他	7,063	5,944
固定負債合計	170,503	148,796
負債合計	4,349,447	3,830,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,006	309,521
資本剰余金	504,756	507,271
利益剰余金	6,052,693	6,676,842
自己株式	△199	△267,186
株主資本合計	6,864,256	7,226,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	13
退職給付に係る調整累計額	3,656	1,828
その他の包括利益累計額合計	3,690	1,841
新株予約権	36,270	36,901
純資産合計	6,904,217	7,265,192
負債純資産合計	11,253,664	11,095,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	10,160,241	10,825,441
売上原価	7,513,181	8,136,643
売上総利益	2,647,060	2,688,798
販売費及び一般管理費	1,555,836	1,569,687
営業利益	1,091,223	1,119,110
営業外収益		
受取利息及び配当金	807	817
助成金収入	189,200	4,490
その他	3,359	1,642
営業外収益合計	193,367	6,950
営業外費用		
支払利息	1,461	473
支払手数料	—	405
営業外費用合計	1,461	878
経常利益	1,283,129	1,125,181
特別利益		
新株予約権戻入益	139	353
特別利益合計	139	353
特別損失		
投資有価証券評価損	3,653	3,339
固定資産除却損	—	89
特別損失合計	3,653	3,428
税金等調整前四半期純利益	1,279,615	1,122,106
法人税、住民税及び事業税	413,494	333,402
法人税等調整額	10,893	19,077
法人税等合計	424,387	352,479
四半期純利益	855,227	769,627
親会社株主に帰属する四半期純利益	855,227	769,627

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	855,227	769,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△20
退職給付に係る調整額	△1,954	△1,828
その他の包括利益合計	△2,005	△1,848
四半期包括利益	853,222	767,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,222	767,778

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,279,615	1,122,106
減価償却費	18,683	20,778
のれん償却額	4,562	—
新株予約権戻入益	△139	△353
投資有価証券評価損益(△は益)	3,653	3,339
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△605	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	84,140	△9,276
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,824	△6,560
受取利息及び受取配当金	△807	△817
助成金収入	△189,200	△4,490
支払利息	1,461	473
売上債権の増減額(△は増加)	△159,233	△15,157
棚卸資産の増減額(△は増加)	△30,834	11,830
前払費用の増減額(△は増加)	△38,069	△42,482
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,169	6,571
未払金の増減額(△は減少)	18,356	△97,777
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,066	△212,640
その他	△10,638	△52,496
小計	912,884	723,046
利息及び配当金の受取額	689	694
利息の支払額	△1,462	△468
助成金の受取額	189,200	4,490
法人税等の支払額	△218,299	△469,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	883,012	258,638
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△600
有形固定資産の取得による支出	△16,188	△23,958
保険積立金の積立による支出	△82,650	△82,650
敷金及び保証金の差入による支出	△26,878	△50,855
敷金及び保証金の回収による収入	1,238	927
定期預金の払戻による収入	—	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,680	△155,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△16,662
自己株式の取得による支出	—	△266,987
リース債務の返済による支出	△353	△353
配当金の支払額	△119,534	△141,644
新株予約権の発行による収入	—	1,947
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,548	4,068
その他	△766	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,105	△420,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	638,226	△317,696
現金及び現金同等物の期首残高	5,608,159	6,814,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,246,386	6,496,720

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,680,112	203,310	276,818	10,160,241	10,160,241	—	10,160,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	28,648	28,648	28,648	△28,648	—
計	9,680,112	203,310	305,466	10,188,889	10,188,889	△28,648	10,160,241
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,066,930	△7,737	32,029	1,091,223	1,091,223	—	1,091,223

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△28,648千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2023年9月1日至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,366,591	151,262	307,586	10,825,441	10,825,441	—	10,825,441
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	48,312	48,312	48,312	△48,312	—
計	10,366,591	151,262	355,899	10,873,753	10,873,753	△48,312	10,825,441
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,121,892	△28,032	17,270	1,111,130	1,111,130	7,980	1,119,110

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△48,312千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来の「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」、「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の4区分より、「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」を統合して「デジタルインテグレーション事業」とし、「デジタルインテグレーション事業」「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の3区分に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 補足情報  
(販売実績)

(単位:千円)

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		対前年同期 増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
システムインテグレーション	7,203,923	70.9	7,205,917	66.6	0.0
デジタルトランスフォーメーション	2,476,188	24.4	3,160,674	29.2	27.6
みどりクラウド	203,310	2.0	151,262	1.4	-25.6
機械設計エンジニアリング	276,818	2.7	307,586	2.8	11.1
計	10,160,241	100.0	10,825,441	100.0	6.5